



第102号

発行日
平成30年
(2018)
10月1日

熟年

じゅくねん

編集発行

姫路市老人クラブ連合会
(姫路市生涯クラブ)

〒670-0943
姫路市市之郷1006番地8
姫路市すこやかセンタ 内
TEL (079) 223-6855
FAX (079) 223-6128



「紅葉」曾左校区 谷口詔子

高齢者作品展より

「四つの貯蓄」を

姫路市老人クラブ連合会

副会長 難波 功



「生涯現役」をいい
言葉に活動している
老人クラブでは「四
つの貯蓄」ができます。

一つは、「仲間の貯蓄」です。仲間と心の
ふれあえるほど大切なものはありません。

二つは、「役割の貯蓄」です。地域のため
に奉仕をし、受け継がれた伝統や技術を次
世代に伝承するのは、高齢者の役割です。
三つは、「健康の貯蓄」です。長い高齢期
においては、スポーツに参加し、健康講座
で知識を得て、時には体力測定で自力を診
断するなど健康管理が大切です。

四つは、「生きがいの貯蓄」です。老人ク
ラブの仲間、友達との旅行や花見、また、
小学生の児童と「昔遊び」でふれあえば、
元気をもらえます。

人生百年の時代を迎えて、長い高齢期を
健康で心豊かに過ごすことは誰もが望むこ
とです。
老人クラブでの活動を通して生きがいの
ある毎日を過ごしましょう。



女性部の活動

女性部長 宇治 貞子

1、友愛訪問活動

高齢になると、体力の衰えから外出が困難になる人がいます。外出が出来ないと会話が少なくなり、寂しい生活になります。

訪問する回数は、月一回と決めています。訪問する人(実行委員)は6名以内で構成し活動の主体となっています。訪問先1人に対して2名の実行委員で訪問しています。



2、愛の募金活動

不幸にして、火災、水害による被害にあわれた方への、災害見舞給付金制度に活用されています。

また、地域福祉のためにブロック単位でシルバーヘルパー研修会を実施し、介護補助を学びます。

3、会員加入促進事業

市が催す「お城まつり」の総踊りに参加しています。今年は350名の会員が、黄色のハッピを着て踊りました。グループ団体としては圧倒的なものでした。



8月4日、林田校区の六九谷公会堂でも行われました。

「方言の良さ」再発見

大塩校区 檜下昌博

7月14日、「姫路地域の方言」調査のため、香寺高校の先生、生徒が大塩へ来られた。迎える当方は70代、80代の男女、合わせて10名である。

まずは虫や草の絵を見せられ、当地での呼び名を確認する。会話ではひとつの言葉を指して、「こう言うとった」と言えば「いや、こうも言いよった」という具合だ。例えば路地のことをひとりが「アワサイ」と言えば、他の者が「アワサバイ」とも言うとった、というようにである。

2人の女生徒は非常に素朴で好感が持てた。当地の言葉は播州弁が主であるが、河内弁にも通じるものもある。一部には京ことばと似通ってもいる、と先生は博識でおられる。

洗練された言語とは言い難いが、温かみのある方言は人と人との結びつけるのに、最も適した言葉ではないだろうか、と強く思うのである。

香寺高校から、地域の方との交流
ができるうれしかったとの礼状が
届きました。

ニューリーダー研修会

6月26日(火) あいめっせホール



演題

「明るくみんなの幸せのために」

○田中種男(姫路市連合自治会 副会長)

○増田信義(香西校区田野第一老人クラブ 会長)

特別講演

本年度新たに校地区や単位クラブの会長になられた方にお集まり頂いて、恒例のニューリーダー研修会が、イーグレひめじ挨拶に続いて、生涯現役推進室の黒川主幹と担当職員、老人クラブ連合会の会長、副会長、事務局職員の紹介があり、その後、ベテラン会長二名の事例発表が行われ、この度はじめて各部長から市老連活動について報告がありました。

事例発表をされた方は次の通り。 敬称略

○加藤定信(飾磨中島地区老人クラブ 会長)

○増田信義(香西校区田野第一老人クラブ 会長)

校区女性部代表研修会

6月12日(火) 市民会館 第6会議室

事例発表 (友愛活動)
○山本由美子 (坊勢校区)
○多月昌子 (山之内校区)

敬称略
発表内容は五ページ



○難波正幸
(城西)

○高橋義夫
(城東)

○長谷川壽二
(大津)

○長谷川文夫
(峰相)
○森澤弘樹
(勝原)

「高齢者の集い」が九月十八日、兵庫県公館で開催されました。老人クラブ育成功労者に六名の方が知事より表彰されました。

高齢者の
集い

兵庫県

高齢者作品展

8月29日(水)～9月3日(月)

イーグレひめじ (市民ギャラリ)

姫路の名所となつたイーグレひめじ。その地下に設けられた市民ギャラリーで、個性ゆたかで自信あふれた作品が展示されました。

市民ギャラリーに訪れた方は、出展目録と作品を確認しながら熱心に回っておられました。この姫路市高齢者作品展は今年で四十四回目になりました。分野別の出品数は左の通りです。

搬入搬出は大変ですが、来年も奮って出品されますようお願い致します。

分野別出品作品数

洋画	日本画	書道	水墨画	陶芸	盆栽	彫刻	写真	洋画	日本画	書道	水墨画	陶芸	盆栽	彫刻	写真
合計	手芸	手紙	手計	手芸	手紙	手計	手芸	手紙	手計	手芸	手紙	手計	手芸	手紙	手計

三十四点	十九点	五十七点	三十二点	四十三点	十三点	七点	三点	二十七点	六点	二十四点	六点	二十四点	七十四点	二十八点	八点
四百五点	二百四点	一百七十四点	一百三十七点	一百二十三点	一百三十三点	一百三十二点	一百五十七点	一百三十九点	一百三十四点	一百三十九点	一百五十七点	一百三十九点	一百三十九点	一百三十九点	一百三十九点



「島人が見守っている」

坊勢校区 山本由美子

坊勢校区は、家島諸島の一つの島です。島の人にはほとんど顔見知りで、出会うと必ず声をかけ合います。

友愛訪問の対象者は二十名で、クラブの実行委員が月一回は訪問し、留守の時は「留守でした」のメモを置いて帰り、日を改めて訪問します。「先日来たけど留守だったね」と声をかけると、「畠へ行っていた」等の返事があり、無事の確認ができます。坊勢島では、地域の方、近所の方皆が人暮らしの高齢者を見守っています。

校区の敬老会では、七十六歳以上の会員が招待され、芸人の演芸等が行われ、楽しいひとときを過ごします。

校区女性部代表研修会 事例発表内容

「過疎化の見守り」

山之内校区 多月昌子

私の校区は、過疎化が進んだ限界集落です。幼稚園や小学校もなくなりました。

友愛訪問の対象者は十名で、私が実行委員として訪問している四名は高齢ですが、中には、その年齢には見えないほどお元気な方もあります。

八十九歳の男性（マラソンランナー）には、自宅への訪問より、ウォーキングコースで見かけたときに声をかけます。八十八歳の女性は、手押し車を押しボチボチ歩かれているので、少し心配です。状況に応じて訪問方法を変えていくのがよいと思っています。住み慣れたところで、日も長く暮らしていくように、見守りを続けたいと思います。

すこやかサロン

主張・随想

ヤンチャだった子猫も、今ではすっかりおじいさん猫になりました。

シヤコバサボテンの咲く頃思い出す、ほろ苦くてなつかしい思い出です。

シヤコバサボテンの思い出

城乾校区 黒田 澄子

シヤコの背中に似た茎節の先に咲くシヤコバサボテンは、金魚鉢の中で尾ひれをひらひらさせて、泳ぐ金魚を連想させる私の好きな鉢花です。

十年前に園芸店で買った一鉢が花後に挿し木、植替えをして、今は十鉢以上になりました。毎年、冬枯れのベランダの一角で色鮮やかな花を咲かせて、楽しめます。

シヤコバサボテンには、忘れる事のない思い出があります。飼い猫のくりくりが子猫の頃、ふくらみかけた蕾に、じゃれたり猫パンチをして蕾を落してしまったことがあります。丹精に育て、咲くのを楽しみにしていただけに、ショックでくりくりをひどく叱った記憶があります。

あの時から十年余の歳月を経て、

姫路の空襲

津田校区 吉田 修三

終戦まで後わずかの頃、僕は国民学校三年だった。校庭は一面芋畑、講堂には兵隊さんが宿泊していた姿を思い出す。

姫路が空襲を受ける四～五日前に、米国の飛行機を初めて見た。五機編隊で尾翼から白い煙を吐いて、

悠々と西の空へ消えていった。「あれ燃えどんと違うか」「落ちてくるぞ」「待避、待避」。無気味な光景に人々は不安と期待が交叉する。「爆撃機B29」の御披露目だった。白い煙は飛行機雲だった。まるで黒船の来航のときのような騒ぎだ。

平成の大修理から三年半が過ぎ、真白な大天守閣の瓦も落ちついて、蒼空にまるで白鷺が舞っているように、美しく輝いています。

連日、海外から多くの観光客が訪れ嬉しい限りです。私は全国の城めぐりをなし遂げましたが「姫路城」こそ最高の名城だと思います。

「空襲警報」僕は裏山にある「防空壕」へ飛び込んだ。「バリバリバリ」凄い音だ。グラマン戦闘機から機銃掃

射だ。「あつやバイ擊たれる」失心してしまった。撃たれたのは校庭周辺だった。グラマンは通行人を狙つたが失敗、流れ玉は家の中にいた隣家の夫婦を犠牲にした。その姿は直視できない無惨さだと聞いた。

ああ！七十年前の話、深い悲しみに暮れていた娘さんはどうなったのだろうか。

母校の壁に銃弾の跡が多数残つていたが、それさえも年月と共に消えてしまった。周囲は一変して、いまはコンビニや給油所が立ち並ぶ。

「あの戦争は何のためだったのか。」

姫路城に寄せて

香呂校区 木村 雅二



目指せ生涯現役

安室校区 一井 美智子

昨年十一月十日に文化センターで「ひめじ生涯現役フェスティバル」生涯現役合唱団コンサートに参加しました。歌が好きという七十歳以上の方が六十三名集まりました。

文化遺産に認定されました。

認定から二十五年を迎ますが、何度訪れても飽きることはあります。

十月三日から前日までの練習日には欠席もなく、のどをいたわりながら二時間の練習に励みました。当たまき、五人で仲良く参加でき、この上なく嬉しく思いました。本番では、「上を向いて歩こう」など懐かしい曲を数曲歌つた後、ラストソングは大震災で生まれた「花は咲く」でした。孫ちゃんたちの参加もあり大変盛り上りました。歌の指導くださった先生にもお礼のチヨコを渡しました。

これからも下手の横好きですが、好きな歌と仲間で、生涯現役を目指していきます。

今朝も元気に歩く

網干西校区 松本秀夫

百歳になつてからの私の朝歩きは我が家の南西の方角にある恵美酒神社のお参りで始まる。拝殿のすぐ傍には百度石があり、昔、戦地へ送られた家族の肉親が武運や長久を祈るためにお参りして石を撫でていた。

百歳の私は、もう一年でも長生き出来ますようにと石を撫でてから、神に手を合わす。

次に田ステ女の尼寺にお参りするが、今になつて足腰に自信が無いので石段を上がらず山門前から地蔵さんに手を合わせる。終戦時は毎日の様に満一歳にならない長男を連れ来て来たことを思い出す。

普段、私は時代小説が好きで、娘に図書館から借りてもらつて、毎日（田ステ女の小説を書くために龍門寺と不徹寺を訪れ、私が取材を受け、不徹寺山門前で一緒に写真も撮つた）。

そんなご縁で今も年賀状のやり取りをしている。

一昨年この不徹寺に尼さんが入寺された。元看護師でホスピスの資格も取得されている。聴くところによると死生学にも興味をもたれて、尼さんになる決心をされたらしい。岐阜の僧堂で四年間厳しい修行をしての入寺年齢は五十三歳で、盤珪禪師に弟子入りした田ステ女に酷似している。

門前には何時も庶民の生活の指針になるような格言が揮毫されていて、多いが、心の汚れを洗う人は少ない」でした。今回は「地獄の沙汰は徳次第、お金はあの世で通用しない」と声をあげていた。朝モヤが、すべてを消し去るまで、時が経つのを惜しんで見入つていた。

雲上のホテル

網干西校区 重永成子

晩秋の頃、うつすらと雪化粧をした新千歳空港に私たち三人は降り立つた。私にとつて何年ぶりかの北海道だ。

この旅行で、私が期待に胸を膨らませたホテルは、二〇〇八年にサミットの会場になつたザ・ウインザーホテル洞爺だ。

夕暮れの時、曲がりくねつた道をバスは山の頂上へと登る。そこには絶景を見下ろすかのように、一棟の白亜のホテルがそそり立つ。

ロビーも部屋もゴージャスな雰囲気で、クリスマス間近の飾りも高級感にあふれていた。

翌朝、ホテルの窓からは、眼下に洞爺湖が姿を現した。湖の中央に中島四島を抱き、湖の外周までくつきりと見える。

一望する景色は、ふんわりと雪をまとい、凜とした冷気が漂う。左に

士山の姿そのものだ。

「つきが来た」

土地の人々が言う。ハトにお猿は神様と交る使者だそうです。受験の結果は「見事に萌え出する春」になりました。三月七日合格。

願えば叶う

旭陽校区 前田光晴

昨年春から内孫は受験に挑む志で、予備校通いをスタートしています。私は、合格祈願掛けを思い立つて、筆記具（鉛筆一打、ボールペン三本）を携えて海外ツアーハとなりました。昨年十月十九日出発。

神々しいヒマラヤ山岳を背にした寺院へ赴き、供託台に筆記具を置いて、恭しく拝札をし始めた時だ。アツ

!! 一匹の猿が舞い現れるや否や、筆記具を持って寺院伽藍の頂塔へ登りました。うわあ～受験に「ケチ!!」を付けた。ところがお猿さんは、食べ物で無いと解ると、不満そうになり「ポイ」と無造作に落してくれました。有難いことだ!! 奇跡が起きた。「ああ～」良かつたよ。一旦は手元を離れて天に登りし文具が、神のご加護を頂き、戻つて来ました

今後も継続実施していく必要性を実感しました。

老人クラブ会員宅から 火事を出さないために

英賀保校区 林 家弘

播州は、他の地方に比べると過去には自然災害が少ないので、災害の備えをする意識が低いようです。たとえばある会員は、「オール電化なので、火事は出しません。」と得意顔です。「台所の冷蔵庫のコンセントは一度差し込んだら、そのままでしよう。コンセントとプラグとの間にたまつたほこりが湿気をよび、両極間に火花放電が始まり発火、火事になります。トラッキング現象というのですよ。」と答えると納得されました。

これを機会に、高町老人クラブ会員を対象に、防災講習会「家庭に起る火災について」を開催しました。トラッキング現象の説明、火災を出さないためプラグとコンセント部分の掃除が必要なこと、プラグ安全カバーの商品紹介、火災警報器の設置についてなど、大変役立つ内容でした。

最後にアンケートを実施、近隣との付き合いの大切さ、防災講習会を

卒寿に向つて

旭陽校区 児林澄子

振返つての人生は、苦しいこと、楽しいことや希望もあり色々だった。過ぎた今は思い出がいっぱいです。勤めながら田畠の管理が一番辛かつた。私には力仕事はたいへんでした。でも親から貰った体のお蔭で頑張りました。感謝いたしております。

日本全国の観光地や寺詣り、海外旅行も楽しみました。でも気になることが一つあります。姫路に住みながらお堀の和船にまだ乗っています。昨年やっと願いが叶い、お堀からの姫路城は素晴らしいし感動です。天守閣はもちろん、積み重ねられた石垣の数々、昔の人は大変だったと感心しました。

家族から米寿のお祝いをして貰い、体力も落ちて来ましたが、姫路市高齢者スポーツ大会に二回も出場し嬉しかったです。元気の源は町内の生涯クラブに入会して、二十数年のお蔭です。仲間の皆さんと仲良く、お茶・グラウンドゴルフ・吹き矢・輪投げなどを楽しんでいます。

小学生と交流会

白鳥校区 永川敏和

白鳥小学校の三年生四十四名と老人クラブ員十五名で、昔の道具の使い方や生活の様子を説明し、交流会を実施いたしました。

まず教頭先生と老人クラブ会長から挨拶を受け、そして出席者の自己紹介を行い、スライドを使って説明を行いました。その後質疑応答で楽しい時間を過しました。



後ろから2番目でピースしているのが筆者

地域の防災訓練

城北校区 岩田吉弘



全員が校庭に出で十グループに分かれて七輪で火起こしの体験をし、かき餅を焼き食べましたが、グループの中には火起こしに四苦八苦です。無事全員が「かき餅」を食べることができました。

交流会の後日、教頭先生や担任の先生から、大変児童がよろこんでいたと聞き、うれしく思っています。また老人クラブ会員も童心にかえり楽しい時間を過しました。



城北地区連合自治会の防災訓練が、地元の城北小学校であった。十六町の住民約八〇〇名が参加した。消防や救命手順など阪神・淡路大震災から学ぶ自助、共助の育成を目指し、住民は各自治会単位で避難経路を確認しながら、小学校に避難した。住民は災害に備え、防災力を高めようと、以前にも防災訓練、AED（自動体外式除細動器）の使い方など体験された方もおられたようだ。

自衛隊による救助体験講話、簡易担架の搬送、カレーライスの炊き出し訓練、消防隊大型はしご車を使つた高所からの救助活動、煙を充満させた「けむり体験」水消火器での放水体験、消火体験など、救命手順を実技形式で確認した一日であつた。

安全・安心に暮らせる町を目指し、多くの消防団員が活動してくれていることを改めて知つた。

安全は人のつながり（自助、共助）があつてこそ、命が守れると感じた一日であつた。

生涯クラブ 二校区での幸せ

東校区 蔭木祥子

この三月まで、城東校区の老人クラブに入っていた。その二年間は楽しくて参加できる行事は、すべて出席し毎日が充実していた。このまま過ごせたらどれだけ楽しいだろうと思つていたが、エレベーター無しのマンションの五階に住んでいて、日々の買い物等で階段の上り下りがだんだん辛くなり、そんな私の姿を見ていた娘達が早目の引越しをすすめた。引越して仲良しの友人と別れるのが淋しい！

これから始まる近所つき合い、新しい先に老人クラブがあるのか？新たな出会いに期待しつつ、今までのような友達がつくれるのだろうか、いろんな思いが交差したが、城東の老人クラブで外に出る楽しさを知り、じつとしているのがもつたない、いい思い出がいっぱいある今ならどんな所にも飛び込んでいけそうな気がした。

この機会に新しいことに挑戦してみたい、まだまだ退屈している暇はない。その時チャンスは突然やってきた。お城の歩こう会で引越し先の東校区の会長さんに出会い、即そ

の場で半年先四月からの入会を申し込んだ。以前の私からは考えられず、自分も意外な行動力にびっくり。東

校区の老人クラブはハイツだけで発足し、会員も少なく立ち上げてから日が浅いと聞いた。雰囲気を知りた

橋となっています。

老人クラブに入会していなければ「熟年」に目を通すことはなかつたでしょう。これからも、いつまでも最高の友として、生活の活力となつていくことでしょう。

広畑プロック 囲碁大会

八幡校区 西本央

平成三十年二月十八日(日)、広畑公民館で広畑プロック囲碁大会が開催されました。五校区の参加で有段者十六名、有級者十四名でした。八幡校区からは段・級クラス六名の方々が参加しました。

公民館前の鉢には、福寿草、白梅のつぼみが見られ、快晴の良い日でした。開会式で「楽しい一日を過ごして下さい」との言葉があり、九時から各クラスに分かれ对局に入りました。対局は順調に進み、昼食を挟んで午後からは優勝戦、三位決定戦と進み、熱の籠つた対局が行われました。

各対局では囲碁談義に花を咲かせ楽しい一日を過ごされたと思います。

段の入賞は、広二、広畑校区でした。八幡校区は、段、級とも紙一重で入賞を逃し残念でした。

来年は入賞を目指し頑張ります。

「熟年」は 最高のパートナー

香呂校区 増田信義

「熟年」の文芸欄で知つた人の名前を見つけると、私は俳句や川柳の知識はまったくなく詠めませんが、ド素人の私から見ても、「あなたの句には愛がこもり、あなたの優しさがにじみ出ています。」とお便りを出します。すると、必ず電話やメールなどがあり愛がめばえ、育まれていきます。「熟年」は、すばらしい愛のかけ

庭手入れびたり冷たき雨蛙

夏の朝鉢置き換へる山野草
中寺牛尾和子

青楓岩間に御座す不動尊
香呂南江藤かつえ

梅酒瓶とろりと搖すり独り言
糸引岡本清子

で虫や殺生す吾も土に生く
前之庄片岡サヨ子

石段をする／のぼる青蜥蜴
城東神崎幸世

青葉して裏山寄せ来戸口まで
城乾木下安江

どくだみや空家の庭に白く咲く
城南曾我節子

団欒を混ぜ返したる油虫
白浜小西敬子

譲られて茅の輪ぐぐりの列に入る
安室東谷岡芳子

茄子の葉の幼虫吹けば空に舞ふ
鈴磨東為則典子

夏座敷風がたのしく行き来して
安室東夏茶碗

令嬢の五指に目の向く夏茶碗
ひとむれの赤い点点水引草

川の字の崩るるごとく熱帯夜
城翼中島保

雨止みて冷酒にすける屋台の灯
荒川中野妙子

洗ひ髪月に晒して山の宿
高岡中瀬照子

田植機やからだ奮はせ田に入るる
大塩橋本健司

思ひ出も捨てて出直し更衣

火力塔照明消えて大花火
八幡福井七夫

ジゲザゲに水溜り除け夕立あと
城東別所佳代子

夕焼や島半分は黒の中
前之庄片岡サヨ子

白南風のうづの花咲く鳴門かな
御国野三木敏夫

梅雨時や散歩三歩で折り返す
大津茂望月久雄

肝心のときは遠くに蠅叩
松岡洋巨

〈選者吟〉
梅雨時や散歩三歩で折り返す
大津茂望月久雄

夕焼や島半分は黒の中
前之庄片岡サヨ子

白南風のうづの花咲く鳴門かな
御国野三木敏夫

高く舞う螢の明かり半端ない
谷内西口紀夫

ふるいかけ我が人生は目詰りか
高浜吉野陽子

ふるいかけ我が人生は目詰りか
高浜吉野陽子

ふるいかけ我が人生は目詰りか
高浜吉野陽子

ふるいかけ我が人生は目詰りか
高浜吉野陽子

ふるいかけ我が人生は目詰りか
高浜吉野陽子

腰痛をこらえて胸張り若づくり
谷内橋本和佳子

親心これにも優る子の心
勝原横田光子

近頃は横文字多く意味不明
旭陽中村美貴子

庭先の雀と語り癒される
四郷北川節子

年重ねボロボロこぼす飯と愚痴
中野忠

ドクダミの花に似合わぬ根の強さ
中野忠

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

年重ねボロボロこぼす飯と愚痴
中野忠

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

つばめの巣出入りし易い戸を開けて
北条てる代

腰痛をこらえて胸張り若づくり
妻鹿篠原繁明

近況は持病の自慢長電話
高岡西梅田泰三

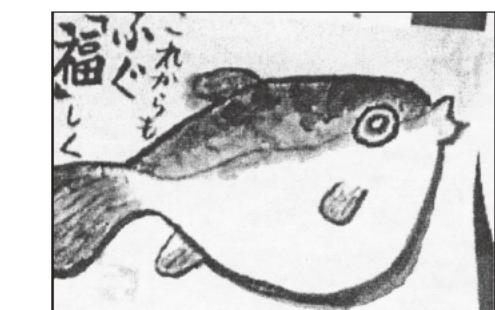
お犬様出した始末を人がする
八幡川崎怜子

旅にでる準備です
トンボや蝶におだてられ

しゃべるなど神のお告げか声が出ぬ
トンボや蝶におだてられ

仲間と一緒にふわふわと
仲間と一緒にふわふわと

レング島や菜の花畠
城南中谷力



安室東校区 辻本美和子

絵手紙

「タンポポの一人ごと」
城南中谷力

「タンポポのわたし
白寿を過ぎました
頭が白くなり
旅にでる準備です
トンボや蝶におだてられ
しゃべるなど神のお告げか声が出ぬ
仲間と一緒にふわふわと
仲間と一緒にふわふわと
レング島や菜の花畠
城南中谷力

陽当たりの悪さ責められ五十年
高岡西梅田泰三

お犬様出した始末を人がする
八幡川崎怜子

10月からの行事予定

10月 1日 30日	機関紙「熟年102号」発行 高齢者スポーツ大会 (ウインク陸上競技場)
11月 13日	社会福祉大会 (姫路市市民会館)
19日 27日	S P C作戦(市内全域) 女性クラブリーダー研修会 (姫路市市民会館)
12月 9日	ひめじ生涯現役 フェスティバル2018 (姫路市文化センター)
1月 25日	高齢者交通安全大会 (姫路市文化センター)
2月 15日	機関紙「熟年103号」発行 高齢者芸能発表会 (姫路市文化センター)

ひめじ生涯現役フェスティバル2018

姫路市では、シニア世代がいきいきと観覧希望者を募集します。
輝く社会を目指して、今年も生涯現役フェスティバルを開催します。

■日時 平成30年**12月9日(日)** 10:00 ~ 16:00
(※大ホールイベントは13:30から)

■会場 姫路市文化センター

■内容

- 女優の藤田弓子さんによるトークショー **要申込** 大ホール
- 「いつも何かにときめいていよう」
- 市民シニアモデルの皆さんによる **要申込** 大ホール
- 「オシャレごろはいつまでも」シニアファッションショー
- 趣味のグループの皆さんによる音楽やダンスのステージ 小ホール
- 協賛企業等による展示や体験講座など(予定) 展示室

■申込方法 藤田弓子さんのトークショーとシニアファッションショーの観覧には、事前申込みが必要。11月7日(木)までに、ハガキ、ファックスまたはメールで、**申込者全員**の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、申込人数を生涯現役推進室まで。1通で2名までの申込み可。定員1,300人、応募多数の場合は抽選。抽選結果は11月中旬に郵送予定。

申し込み・問い合わせ先 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 生涯現役推進室
TEL:221-2986 FAX:221-2972 メール:ikigai@city.himeji.lg.jp

愛の募金

本年度も愛の募金にご協力下さいますようお願い致します。
この貴重な募金は主として次のような活動に活用させて頂きます。

- 老人クラブ会員の災害見舞金
- 寝たきり・一人暮らし会員の訪問
- 友愛訪問研修
- シルバーヘルパー養成研修

今回も会員のみなさまより、素晴らしい原稿が寄せられ感謝を致しております。編集部 次回の原稿もお待ちしております。

「北海道地震」が、想定外の被害をもたらしました。「西日本豪雨」「猛暑」「20・21号台風」など異常気候から感ずるに、蜂は毎年高さや育てるためであろうが、今年は「壺の中」に巣が見られる。昆虫は「超能力」をもっている。猛暑や台風を予知したことか?

「低木の中」に巣が見られる。昆虫は「超能力」をもっている。猛暑や台風を予知したことか?

編集後記

『熟年』の原稿を募集します。

投稿規程

- (1)投稿は、会員に限ります。
…校区名・クラブ名・氏名・電話番号を楷書で
- (2)クラブ活動の様子・提言・随想・詩など
…写真やイラストを除いて400字以内で
詩は、16字×20行以内
- (3)短歌・俳句・川柳など
…はがき1枚に1人3首(句)まで
俳句は、俳句欄末の兼題で(雅号不可)
- (4)編集の都合で添削し、割愛または次号に回すことがあります。
原稿は、すべて返却しません。ご了承ください。

原稿の送り先

〒670-0943 姫路市市之郷1006-8
姫路市すこやかセンター内
姫路市老人クラブ連合会 事務局「熟年」係
次回締切りは**12月1日**です。

機関紙「熟年」は、ホームページでもご覧いただけます。

姫路市老人クラブ連合会

URL <http://www.hime-ro-ren.com/>

老人クラブ事務局 執務時間	月・火・木・金 9:00~17:00 土 9:00~15:00 水・日・祝日 休日
------------------	---